

# 住民のいのち・暮らしを守り 安全・安心のまちづくりを最優先に

日本共産党

2019年  
新しい年を迎え 決意新たに！  
——日本共産党羽曳野市議員団

平和を守り、  
憲法を活かす政治に

昨年は、地震や台風、豪雨など各地で  
大きな被害が相次ぎました。  
カシノより防災対策が急務です。  
軍備拡大より社会保障の充実を！  
消費税増税ストップ！  
一緒に、平和、いのち、暮らしを守り、  
憲法を生かす政治に頑張ります。



12月市議会

ささい喜世子 わたなべ真千 ひろせ公代 若林信一 の各市議

## 「学童保育制度の拡充を 求める請願」は継続審議に

日本共産党 ➡ 「採択」を主張  
自民・公明・維新 ➡ 難色示し採択せず！

### 土曜の通年保育を実施していないのは 大阪府内では羽曳野市含む4市のみ

2016年度から「子ども・子育て支援制度」により小学1年生から3年生までの学童保育が6年生まで拡充されました。働く子育て世代が増える中、学童保育への入所希望が増え、制度拡充の要望が強くなっています。特に、大阪府内で土曜の通年保育を実施していないのは羽曳野市を含めた4市です。

12月市議会では、「土曜の通年保育と学校の長期休暇期間の保育時間延長を求める」趣旨の請願が出され、日本共産党は、紹介議員となりました。これまで通年の土曜保育を実施できないのは、職員の確保が困難というのが主な理由でした。日本共産党は「勤務時間が短く、他市より給与が大変低い現状を改善すれば、確保の条件は広がる。研修や保育準備の時間も確保でき、保育の質の向上につながる」と指摘。働く子育て世代の要望に応じて採択するように求めました。しかし、自民・公明・維新会派は、「職員確保が困難であるのなら、確保できる条件がそろうまで」という理由で、継続審議とし、切実な声を先送りにしました。今後も、日本共産党は、切実な子育て世代の声を実現するまで、粘り強く頑張ります。

## 「(仮称)西部こども園建設の 話し合いを求める請願」 採択される

### 保護者の当たり前の要望を 市は真摯に受け止め、今後の話し合いに 取り組むよう求める

(仮称)西部こども園(340名定員)建設の計画が進んでいる中、統廃合される予定の向野保育園に通う保護者から、計画について市からの説明や話し合いを求める趣旨の請願が12月市議会に出されました。

向野保育園は待機児童の解消のために、年度途中から突如、保育室の改修工事がされた経過があり、その時も市からの十分な説明がありませんでした。また、現在でも240名の大規模園の支障が改善されていません。今回の請願趣旨については、保護者として当たり前の要望であり、市は真摯に受け止めるべきとし、採択を求めました。他会派も当然の請願趣旨であるとして全会一致で採択されました。

